

4年生 算数科 学習指導案

1) テーマ 小数

◆指導計画（全16時間）

- ① 1デシリットルよりも小さいかさを表してみよう
- ② マスに入った量をタイルで表そう
- ③ タイルで表し、小数で量を理解しよう（以下指導案：本時）
- ④ 小数の仕組み、数直線
- ⑤ 小数の多面的な見方
- ⑥ 小数どうしのたし算①
- ⑦ 小数どうしのたし算②
- ⑧ 小数どうしのたし算③
- ⑨ 練習
- ⑩ 小数どうしのひき算①
- ⑪ 小数どうしのひき算②
- ⑫ 小数どうしのひき算③
- ⑬ 練習
- ⑭ チェックテスト
- ⑮ 習熟
- ⑯ 単元テスト

2) 本時のねらい

- コンテンツを利用することで、小数というはしたの量を視覚的に捉える。
（前時までは具体物での操作）
- タイルを操作し、位取りを意識しながら、小数を量としてとらえる。

3) 展開

時間	学習活動の流れ	指導上の留意事項
導入 10分	○コンテンツを用いて前時までの復習をする。 （前時までは具体物を活用している）	○前時までの復習をする。 ★コンテンツを提示する。 （ティチャー機を操作） ・ 0.1デシリットルは1デシリットルを10等分したものであること ・ 0.1デシリットルの読み方 ・ 一の位と小数第一位のあわせ方 などしっかりと押さえる。
展開 20分	○小数で表された量をタイルで表す。 ・ みんなでやってみよう1をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-top: 10px;">主発問：小数をタイルで表してみよう！！</div>	○前時の問題：「タイルで表された量を小数で表す問題」を思い出させ、本時の主発問を提示する。 ○本時の学習は前時の学習の逆であることに気付かせる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ ① 3. 4 の小数をタイルで表す方法を考える。 ・ 前時に切り取ったタイルを各自で操作し、タイルの表し方を考える。 ・ 表し方を発表し、交流する。 ・ 位取りを確認する。 ・ ② 0. 5 の小数をタイルで表す方法を考える。 ・ タイルを操作し、表し方を考える。 ・ 表し方を発表し、交流する。 ・ 0. 5 の小数の量をタイルで表すことができたか確認する。 ・ 「ひとりでやってみよう 1」 をする。 ・ 各自でタイルを操作し、学習ノートに貼り付ける。 ・ 「ひとりでやってみよう 2」 をする。 ・ 「チャレンジ」 をする。 ○ 0. 5 をタイルを使って表した時と同様に、小数第一位に 5 が書かれてあったならば、「0. 5」と読むことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3. 4 の表し方を確認するために、位取りを確かめる。 ○ 0. 5 の一の位は 0 であることに着目させ、考えるよう伝える。 ○ 机間巡視をし、子どもたちの様子をしっかりと見、目的をもった上で発表者を指名する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理由まで述べるよう声かけをする。 ○ 一の位には何もおかないこと、小数第一位の位には 0. 1 のタイルを五個おくことを確認し、まとめる。 ○ 「ひとりでやってみよう 1」 は全員で答え合わせをする。 ○ つまづいている子は先生コーナーにくるよう声かけをする。 ○ 「ひとりでやってみよう 2」「チャレンジ」 は自分で○つけをする。「→間違える→直し→先生に見せる」を徹底し、間違えた理由をしっかりと把握する。 ○ 前時と本時の学習をふまえた上で、小数からタイル、タイルから小数のどちらもできることを確認する。
<p>まとめ 分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ひとりでやってみよう 1」 の「2」と「3」の問題をもう一度振り返り、本時のまとめをする。 ○ 次回は小数のしくみを学習することを伝える。

4) 活用コンテンツ

<http://www.geocities.jp/rpfmr671/4nenfla/sansu/shosu/shousu1.htm>